



■授業の目的及び到達目標

『英語科教育法Ⅰ』の内容を踏まえ単元計画（学習指導案作成）を行い、英語による模擬授業及び考案した活動等を行います。また、評価規準に基づいた評価方法を考案し、実際に学習評価を実践することを目的とします。

講義を通じて

- ・学習指導要領に基づいた英語の授業が実践できる。
- ・指導と評価の一体化を目指した単元をすることができ、その計画に基づいた授業の実践ができる。
- ・目標及び評価規準を踏まえ適切な評価方法（テスト作成やパフォーマンステストなど）を考えることができ学習評価に関する基礎的な知識と技術を身につける。

■授業計画

〔前期〕

- オリエンテーション 英語教育の現状と課題
様々な調査などから今後の講義に取り組むにあたり、現在の英語教育の課題と現状を理解し、今後の授業づくりの視点を確認します。
- 学習評価
学習指導要領3つの柱「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」をどのように指導し学習評価するか具体を考えます。
- 単元構成
学習到達目標に基づく単元の組立て学習到達目標に基づく単元及び授業の計画について理解し、中学校及び高等学校の英語の授業を考えます。
- 指導案検討
それぞれの指導案を見合い授業について議論します。その議論を踏まえ授業づくりについて理解を深め、改善します。
- 模擬授業①
中、高等学校での授業場面を想定して、目標を踏まえた学習指導案を作成し、模擬授業を実践します。
- 模擬授業②
中、高等学校での授業場面を想定して、目標を踏まえた学習指導案を作成し、模擬授業を実践します。
- 授業研究①
実際の授業を映像等で視聴し、ここまでの模擬授業も踏まえ授業作りについての考えを深めます。
- 模擬授業③
中、高等学校での授業場面を想定して、目標を踏まえた学習指導案を作成し、模擬授業を実践します。
- 模擬授業④
中、高等学校での授業場面を想定して、目標を踏まえた学習指導案を作成し、模擬授業を実践します。
- 授業研究②
実際の授業を映像等で視聴し、ここまでの模擬授業も踏まえ授業作りについての考えを深めます。
- 模擬授業⑤
中、高等学校での授業場面を想定して、目標を踏まえた学習指導案を作成し、模擬授業を実践します。
- 模擬授業⑥
中、高等学校での授業場面を想定して、目標を踏まえた学習指導案を作成し、模擬授業を実践します。
- 振り返り
模擬授業を中心に、前期の講義内容を踏まえ振り返り、成果と課題を見出します。

〔後期〕

- 定期試験の問題の作成
定期試験の問題を作成し、観点に基づいた問題作成について考えます。
- パフォーマンステストの作成および模擬体験
パフォーマンステストの作成および実施を通し、効果的学習評価について考えます。
- 指導案検討
それぞれの指導案を見合い授業について議論する。その議論を踏まえ授業づくりについて理解を深め、改善します。
- 模擬授業①
中、高等学校での授業場面を想定して、目標を踏まえた学習指導案を作成し、模擬授業を実践します。
- 模擬授業②
中、高等学校での授業場面を想定して、目標を踏まえた学習指導案を作成し、模擬授業を実践します。
- 授業研究①
実際の授業を映像等で視聴し、ここまでの模擬授業も踏まえ授業作りについての考えを深めます。
- 模擬授業③
中、高等学校での授業場面を想定して、目標を踏まえた学習指導案を作成し、模擬授業を実践します。
- 模擬授業④
中、高等学校での授業場面を想定して、目標を踏まえた学習指導案を作成し、模擬授業を実践します。
- 授業研究②
実際の授業を映像等で視聴し、ここまでの模擬授業も踏まえ授業作りについての考えを深めます。
- 模擬授業⑤
中、高等学校での授業場面を想定して、目標を踏まえた学習指導案を作成し、模擬授業を実践します。
- 模擬授業⑥
中、高等学校での授業場面を想定して、目標を踏まえた学習指導案を作成し、模擬授業を実践します。
- 模擬授業⑦
中、高等学校での授業場面を想定して、目標を踏まえた学習指導案を作成し、模擬授業を実践します。
- 今後の英語教育について
講義内容を踏まえ、これからの英語教育について考え、議論します。

■授業の方法

授業ではペア、グループワークを多く行い、課題解決などに協働的に取り組むと共に、実践を多く行います。前期、後期それぞれ1人1回以上は模擬授業を行います。

■予習・復習

講義内容を踏まえ、学習指導案の作成及び模擬授業準備を予習とします（2～3時間）。講義を踏まえ作成した学習指導案等を根拠をもち修正、改善し理解を深めるなどを復習とします（1～2時間）。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

成績については、

- ・模擬授業 40%
- ・授業の取り組み 20%
- ・学習指導案 40%

から総合的に判断します。授業に臨むにあたっては、個人での目標をたて、その目標への到達度を毎回の授業後に振り返りを行います。振り返りや指導案は提出してもらい、担当がコメント等をして返します。

■教科書・参考書

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 外国語編 英語編、Here We Go! 1～3（光村図書出版）など ※授業で指示します。

■関連する科目

英語科教育法Ⅰ、英語教育入門、英語教育研究A、B、C、D

■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）

公立中高等学校での英語科教員としての実務経験があります。